

別表第4 高等学校の他の教科の免許状の必要単位数について

※最後までよくお読みください。

※愛知県教育委員会における取得方法です。

受けようとする免許状の種類			高等学校教諭一種免許状
有することを必要とする免許状の種類			高等学校教諭免許状
最低修得単位数	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項に関する科目※1 (<u>一般的包括的な内容を含むこと※2</u>)	20 単位
		各教科の指導法に関する科目（情報通信技術の活用を含む。） (<u>包括的な内容を含むこと※3</u>)	4 単位

※1 教科に関する専門的事項について

- ・教科に関する専門的事項に関する科目については、受けようとする教科によって異なります。**p2** のとおり修得してください。
- ・特に令和6年4月から「理科」、「家庭」、「情報」は科目が変更されています。令和6年3月以前に修得した単位を利用する場合は御注意ください。

※2 一般的包括的な内容を含むことについて

- ・一般的包括的な内容とは、その科目の学問領域をおおまかに網羅するものであり、特定の領域に偏っていない内容を指します。各大学において、一般的包括的な内容を含んで修得する際に必要な講座が定められています。例えば、数学の免許を取得したい場合、「△△の講座を受講すれば、代数学を一般的包括的な内容を含んで修得することができますか。」と単位修得予定の大学へ確認し、単位を修得してください。
- ・一般的包括的な内容を含んで修得できているかどうかを確認する際は、学力に関する証明書の確認欄に○がついていることで確認ができます。上記の聞き方でうまく確認が取れない場合は、「学力に関する証明書を発行する際に、△△の講座を受講すれば、代数学の確認欄に○がつきますか。」と大学へお問い合わせください。それぞれの科目で一般的包括的な内容を含むように修得することが必要となりますので、科目すべての確認欄に○がつくことが必要です。
- ・教職課程のない大学（放送大学等）で一般的包括的な内容は取れませんので御注意ください。

※3 包括的な内容を含むことについて

- ・大学によって修得方法が異なります。大学へお問い合わせください。
- ・なお、包括的な内容を含んで修得できるかどうかを確認する際は、※2と同様に学力に関する証明書の「各教科の指導法」の確認欄に○がついていることで確認ができます。
- ・教職課程のない大学で（放送大学等）包括的な内容は取れませんので御注意ください。

高等学校の教科に関する専門的事項に関する科目について

- ・次に掲げる免許教科の種類に応じて、それぞれ定める教科に関する専門的事項に関する科目についてそれぞれ1単位以上修得してください。
- ・それぞれの科目に対して、一般的包括的な内容を含むように修得してください。
- ・英語以外の外国語の場合は、それぞれ英語の場合の例によるものとします。
例：中国語の場合、【中国語学、中国語文学、中国語コミュニケーション、異文化理解】となります。
- ・「 」は、「 」内から1科目以上選択してください。

免許教科	教科に関する専門的事項に関する科目
国語	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)
	国文学(国文学史を含む。)
	漢文学
地理歴史	日本史
	外国史
	人文地理学・自然地理学
	地誌
公民	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」
	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」
数学	代数学
	幾何学
	解析学
	「確率論、統計学」
	コンピュータ
理科	物理学
	化学
	生物学
	地学
	「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」
音楽	ソルフェージュ
	声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)
	器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)
	指揮法
	音楽理論・作曲法(編曲法を含む。）・音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)
美術	絵画(映像メディア表現を含む。)
	彫刻
	デザイン(映像メディア表現を含む。)
	美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)
工芸	図法・製図
	デザイン
	工芸制作(プロダクト制作を含む。)
	工芸理論・デザイン理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。)
書道	書道(書写を含む。)
	書道史
	「書論、鑑賞」
	「国文学、漢文学」
保健体育	体育実技
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)
	生理学(運動生理学を含む。)
	衛生学・公衆衛生学
	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)

免許教科	教科に関する専門的事項に関する科目
保健	「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」
	衛生学・公衆衛生学
	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)
看護	「生理学、生化学、病理学、微生物学、薬理学」
	看護学(成人看護学、老年看護学及び母子看護学を含む。)
	看護実習
家庭	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)
	被服学(被服実習を含む。)
	食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)
	住居学
情報	保育学
	情報社会(職業に関する内容を含む。）・情報倫理
	コンピュータ・情報処理
	情報システム
	情報通信ネットワーク
農業	マルチメディア表現・マルチメディア技術
	農業の関係科目
工業	職業指導
	工業の関係科目
商業	職業指導
	商業の関係科目
水産	職業指導
	水産の関係科目
福祉	職業指導
	社会福祉学(職業指導を含む。)
	高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉
	社会福祉援助技術
	介護理論・介護技術
商船	社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)
	人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解
	加齢に関する理解・障害に関する理解
職業指導	商船の関係科目
	職業指導
英語	職業指導
	職業指導の技術
	職業指導の運営管理
	英語学
宗教	英語文学
	英語コミュニケーション
	異文化理解
宗教	宗教学
	宗教史
	「教理学、哲学」